# <u>平成 25 年 6 月度 バージョンアップ項目</u>

#### <施工図システム>

- 1. 梁のエディット機能追加(斜め小梁のみ)。
- 2. 継手詳細図 スカラップ形状設定に対応。
- 3. 梁単品加工図修正(図面比率,ネットフック距離,キープラン位置設定追加)。
- 4. 梁の配置に梁検索ボタン追加。
- 5. 斜め梁ハンチ原寸型紙対応。
- 6. 柱詳細図 仕口内に取り付く梁の断面表示に対応。
- 7. 柱詳細図 スカラップ表示に対応。
- 8. 柱詳細 耐風梁部材表記を統一化。
- 9. タイコ絞りの個別変更に対応。
- 10. 柱詳細ダイヤ確認で柱サイズが表示されます。
- 11. 修正した梁を伏図で色を変更しての出力に対応。
- 12. EVファスナーの入力を追加。
- 13. ガセット方杖に複写機能を追加。
- 14. ガセット方杖配置 勾配梁に取り付く小梁に対応(転んでいる箇所のみ)
- 15. 天井吊り本体の3D表示対応。
- 16. 天井吊り修正に、切断位置の個別修正を追加。
- 17. ガセット合番の振り方に二種類追加(柱付きのみ先頭にC 溶接梁は受け依存)
- 18. ボルト集計表に、階別ボルト集計表を追加。
- 19. 軸ブレスが間柱を跨ぐ場合、間柱で分割しての配置に対応
- 20. 歪み取りの入力を追加。

# <胴縁システム>

- 1. 胴縁を部材の厚みで色分けして表示。
- 2. データ変換、基本データの最小長さより短い胴縁の変換に対応。
- 3. 胴縁編集、「マグサ指定」を追加。
- 4. 胴縁編集、組物に指定した胴縁の端部ピース削除に追加。
- 5. データ変換、配置位置が重なるピースの登録に対応。
- 6. データ出力、加工図のピース芯ズレの表示の設定を追加。
- 7. データ出力、加工図の※マークのコメントを追加。
- 8. データ出力、集計表のボルトを長さ別に出力。
- 9. データ出力、鉄丸2用CSVファイルの規格の出力を追加。
- 10. データ出力、割付図の出力時に表軸・裏軸の選択を追加。
- 11. 保守契約ダウンロードボタンを追加

<施工図システム>

1. 梁のエディット機能追加(斜め小梁のみ)

①梁の配置から[鉄骨コマンド]を選択します。

梁優先 2点配置 分割	横 分割 縦 斜め梁	: 火打ち梁 斜め通	り嵩上配置	デッキ方向 [	PL反転 緩衝チェッ	り 柱高さ設め	定	N CM
仕口修正 座屈止め キ	ャンティ配置 二重梁 ガt	いト方材 鉄骨コマント*		階高設定	スパン入力 基準	設定	柱部材入力	梁部材入力
フジレス部材 🦷 ジョイ:	小 人 人 人 人 人 人 作成	本柱配置 間柱耐息	風梁 柱修正	セットバック	梁配置 🔿	平面	プレス 軸フ	シス スリーブ
水勾配設定 合業設定	工区設定 天吊,	根太 折板受け ク	クレーンガーター 斜	通用勾配	図面レイアウト	梁間寸法	全図作成	部材坝자出力
アンカー作成 伏図作成	战 軸図作成	梁合番付 デッキフ*		梁詳細	梁リスト	材料リスト	積算	直交通り追加

② 右のメニューから[梁エディット]を選択します。



③ エディットする梁を左クリックで選択します(斜め小梁のみ対応になります)

④ 鉄骨コマンド画面になりますので梁を編集します。



⑤ 編集が終わりましたら左上の[保存終了]で、終了します。

⑥ 取り付く柱、梁が変わる場合は、[梁配置]-[梁の修正]-[梁の伸縮]で変更してください。

既に修正してある 機能を選択してくだ	きです さい
エディット	再度梁をエディットします
エディット解除	┃エディットする前の状態に戻します
キャンセル	

エディット済みの梁を選択した場合は次のメニューが表示されます。

[エディット]…再度梁をエディットします。 [エディット解除] …エディットする前の状態に戻します。 [キャンセル] …梁選択に戻ります。

# <例>大梁からクリア10mmにエディット





[直線]-[平行線]で10mmクリアの補助線を引きます。





[直線]ー[伸縮(線まで)]で梁の線を縮めます。



# [削除]-[要素]でいらなくなった線を削除します。 編集が終わりましたら左上の<mark>[保存終了]</mark>で、終了します。





2. 継手詳細図 スカラップ形状設定に対応



ガセット初期設定の基準スカラップ形状に対応しました

# 3. 梁単品加工図修正(図面比率, ネットフック距離, キープラン位置設定追加)

梁単品加工図出力に図面比率の設定項目を追加しました。



ネット受け入力にネット受けピッチの設定項目を追加しました。

梁詳細	図面作成
単品加	工図作成
図面ブ	レビュー
合番	設定
胴縁ビー	ス読込設定
梁の	修正
終	7
図面 ジャスト	出力 イン印刷
<u>シャスト</u>	イン印刷
「古山ノ	ビビュ
	定
ネット受け	ビッチ(mm)   1000

梁単品加工図設定の中にキープラン位置、サイズ設定を追加しました。



4. 梁の配置に梁の検索ボタン追加しました。



5. 斜め梁ハンチ原寸型紙に対応しました。

# 6. 柱詳細図 仕口内に取り付く梁の断面表示に対応。

柱詳細図に仕口内に取り付く梁の断面が表示されるようになりました。



7. 柱詳細図 スカラップ表示に対応。

柱詳細図にスカラップが表示されるようになりました。



8. 柱単品図 耐風梁部材表記を統一化。



#### 9. タイコ絞りの個別変更に対応。

タイコの絞りが個別に変更できるようになりました。

- ① <柱詳細>-<ダイヤ確認>を選択してください。
- ② 修正したい柱を選択してください。
- ③ "スペースキー"を押すとタイコ絞りの有無が変更できます。
   ("スペースキーでコアの絞り有無が変更できます"のメッセージが表示されているときのみ変更できます。)



10. 柱詳細ダイヤ確認で柱サイズが表示されます。



#### 11. 修正した梁を伏図で色を変更しての出力に対応。

伏図出力した以降に修正された梁の色が赤色で出力されます。

① <図面作成>-<図面レイアウト>-<基本データ>を選択してください。

# 2 "変更要素の色を赤へ変更する(伏図)"にチェックを入れてください。 (伏図を作成すると"変更前の図面の日付"は自動的に更新されます。) ("変更前の図面の日付"を指定すると、それ以降に修正された梁が赤色で出力されます。)

■ 図面レイアウト	
基本データ	柱面・柱芯 寸法線 □ アンカーブラン・伏図 [有=1、無=2、柱面=3、柱芯=4] 梁寸法表記 2 伏図 [有=1、無=2]
アンカーレイアウト	合番表記     1     伏図・軸図 [合番=1、設計マーク=2]     (大図・軸図)     (大図・軸図)     (大図・転回)     (大図・広回)     (大図・転回)     (大図・広回)
伏図 レイアウト	1     1 <th1< th="">     1<!--</th--></th1<>
軸図 レイアウト	(軸図の間桂、耐風梁ガセット合番表記 ※ X/軸両方に出力する間相は、受け梁が見える軸面のみ合番表記します)       出力用紙サイズ     1 [A1=1、A2=2]
裏軸 設定	(アンカープラン・伏図・軸図の用紙サイズ) <u>玉止め比率(%)</u> 25
自社名設定	1 #12 [ 1 + 1 : : : : : : : : : : : : : : : : :
終了	変更前の図面の日付を設定してください。 2013年6月03日12時0分
LJ	<ul> <li> <i>▽ グループ化する</i>         ※基本データの設定は全工事共通です     </li> </ul> Enter     Image: Contract of the provided and

③ 伏図を作成してください。



下の図面のように修正された梁の色が赤く出力されます。

12. EVファスナーの入力を追加。

@J期值 F 例DF1,F2,F3…等 連番) 「ファスナー合番を図面にも表記



ファスナーの配置手順

- ファスナー配置のボタンを押します。
- ② 配置する通りをマウス選択します(ファスナーを溶接する梁と同じ向きの通り)
- ③ ファスナー配置位置の基準にする通りをマウス選択します。
- ④ 画面の案内に従い、必要な項目を入力。 決定ボタンを押すと、配置は完了です。
   「続けて配置しますか?」と聞いてくるので、同じ通り上に配置するならYes、しないならNoを選択。

全てを配置した後、「完了」ボタンを押すと入力は終了、ファスナーのメニュー画面に戻ります

•ファスナー修正 ファスナーをマウス選択すると、修正画面に移ります。

(入力項目は配置時と同じ)

- •ファスナー削除 削除するファスナーを範囲指定して下さい。
- •ファスナー型板出力 ファスナーの型板を作成します。
- ・合番再設定 ファスナーの合番を全て振り直します。 (ファスナー設定の、[ファスナー合番先頭文字]+連番で自動で振ります)

### 13. ガセット方杖に複写機能を追加。

ゆ梁 火打ち梁 斜め通り 嵩上配置	デッ井方向 [	PL反転 緩衝和	ック 柱高さ設	定	0	がセット方杖が	入る小	深を
新 <sup>*</sup> も小方杖 鉄骨コマント* ファスナー	階高設定	スパン入力 基	準設定	柱部材入力	梁部材入力	「万秋以外」	一覧	複写
F成 本柱配置 間柱耐風梁 柱修正	セットバック	梁配置		ラブレス 軸フ	シス スリーブ	1 48 ( 30/10 .	×	
天吊根太 折板受け クレーンがーター 余	1通用勾配	図面レイアウト	梁間寸法	全図作成	部材以补出力		▶ 項	目表示
梁合番付 デッキフプレート 柱詳細	梁詳細	梁リスト	材料リスト	積算	直交通り追加			

[ガセット方杖]を選択すると、複写ボタンが追加されています。

複写手順

複写元のガセット方杖をマウスクリックします。



め梁       火打ち梁       斜め通り       嵩上配置       デゥキ方向       PL反転       緩衝チェック       柱高さ設定       い       マウス選択して下さい         がセット方杖       鉄骨コマハ*       ファスナー       階高設定       スパン入力       基準設定       柱部材入力       梁部材入力       復写先の梁(小梁)を マウス選択して下さい         成       本柱配置       間柱耐風梁       柱修正       セットパック       薬配置       ・       ・       車面プレス       軸プレス       スリープ         活品表       折板受け       クレーンがーター       斜通用勾配       回面レイアウト       梁間寸法       全図作成       部材リスト出力	写 示
がもっト方杖     鉄骨コアント*     ファスナー     階高設定     スパン入力     基準設定     推部材入力     梁部材入力       成     本柱配置     間柱耐風梁     柱修正     セットパック      梁配置     ・     ● <t< td=""><td>, 写 示</td></t<>	, 写 示
成本柱配置     間柱耐風梁     柱修正     セットパック     梁配置     平面プレス     軸プレス     スリーブ       こ日、根太     折板受け     クレーンがーター     斜通用勾配     図面レイアウト     梁間寸法     全図作成     部材リスト出力	_ 示
〒1月表 「「「「日表」」 「「「「日本」」」 「「「「日本」」 「「「「日本」」 「「「「日本」」 「「「「日本」」 「「「「日本」」 「「「「日本」」 「「「「日本」」 「「「「日本」」 「「「「日本」」」 「「「「日本」」」 「「「「」」」 「「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「」 「	示
梁合番付 デッキアルート 柱詳細 梁詳細 梁けスト 材料リスト 積算 直交通り追加	
65	BIS
C9 B19	
▼10-2 [1] [3] [4] [4] [4] [4] [4] [4] [4] [4] [4] [4	
ガセット方杖を複写しました 方杖合番は複写元と同じにしてあります	
マウスクリック (変更したい場合は修正して下さい)	
	BI 9
	B34

③ マウスクリックした位置に複写されます。
 他にも複写したい箇所があるなら、連続して梁をマウスクリックして下さい。
 複写を止めたい場合、もう一度 [複写]ボタンを押せば、複写は終了します。

※ 複写先が全く同じ状況なら、同じ合番で複写されます 何かしら条件が異なり、違う方杖になる場合、他と重複しない合番 [部材名+連番] で自動設定します。 合番を変更したい場合は複写を解除し、ガセット方杖を修正して下さい。

14. ガセット方杖配置 勾配梁に取り付く小梁に対応(転んでいる箇所のみ)



勾配梁に取り付く箇所も配置できるようになりました。 ※ 但し、梁が大梁と同じ角度で転んでいる場合のみ

# 15. 天井吊り本体の3D表示対応。

3D表示に天井吊り本体も追加されました(色の設定は母屋と同じ項目)

#### 16. 天井吊り修正に、切断位置の個別修正を追加。

修正項目に[切断位置 修正]を追加しました。

天吊	始点通り伸縮
天吊	終点通り伸縮
۲	ッチ 修正
切	新位置 修正

- ① ボタンを押した後、修正する天井吊りを選択(複数指定可能)
- ② [選択 決定]ボタンを押すと、切断する通りの選択になります。
   通りをマウス指示すると選択、再度マウス指示すると解除されます。
   (※ 梁が無い通りを選択しても、そこで切断はされません)
- ③ 切断通りを全て選択後、[決定]ボタンを押すと、天井吊りを再度計算、合番を振り直します。

# 17. ガセット合番の振り方に二種類追加(柱付きのみ先頭にC 溶接梁は受け依存)

ガセット合番の振り方に、選択が増えました。



・ 受ける梁・柱で合番を変更する(飛行機梁に付く板は溶接先に依存)

基本は[受ける梁・柱で合番を変更する]と同じですが、飛行機梁に取り付く板だけ変わります。 飛行機梁の溶接先が大梁ならG、柱付き仕口ならCとなります。 下記はその例。



## ・ 受けが柱の場合 合番の先頭に[C]追加

柱付きの板のみ、合番の先頭にCが付きます。 それ以外は[連番合番]と同じ振り方をします。

# 18. ボルト集計表に、階別ボルト集計表を追加。

ボルト集計表を出力すると、同時に[階別ボルト集計表]を作成します。

[ ボノ	しト 使用箇所明	湖書 ]	〈觏別	#計法>	承望	1 作成
<u> 機入店</u>			IE		1	1
工事名 就开21辦					20	
#1053 <b>21</b> 5	术ルト	明細		. 9	ボルト本数	
20.79 T 42.45	ボルト徑	ׯ	ż	使用本数	ロス家	羌注本数
FL		x				i de la companya de la
TCEN	16	×	35	4		
FL		×				[
TORNA	16	x	35	172		
TORIN	20	×	45	252		
TORNH	<b>20</b> %	×	50	128		Ĵ
TORIN	20	×	55	256		
TORNH	22	x	60	192		
TORIN	22	X	85	376		
TORIN	22	x	75	384		
TCRNI	22	×3	80	578		
TORNE	22	×	85	.96		
TCRN F8T	16	×	35	8		
TCKNI F8T	22	×.	80	480		
FL		×				
TCRNI	16	×	35	160		
TORN	20	x	45	262		
TC#044	20	$(\mathbf{X})$	50	102		
TORN	20	×	55	192		
TORNE	20	×	60	- 96		
TCRH	22	×	55	228		
TORNE	22	×	80	96		
TORNE	22	<b>X</b>	85	601		
TCRNH	22	X	70	608		

[剛接・ピン接]、[仮ボルト]の二種類のリストが作成されます。

# 19. 軸ブレスが間柱を跨ぐ場合、間柱で分割しての配置に対応

①新規配置のデータ登録時に分割するか聞きます。

\*修正時はできません。



# ②分割する場合は「はい」を選択します。

\*以下の図のようにブレスを2本に分けて配置します。



梁配置画面の「歪取り」のボタンをクリックします。

22 第13	
RSL 27:(仮称)新築工事	大梁継手:一般 小梁継手:
梁優先 2点配置 分割 横 分割 縦 斜め梁 火打ち梁 斜め通り 嵩上配置 デッオ方向 [PL反転 緩衝子	ク 柱高さ設定 20 🔽 梁部材を通
仕口修正 座屈止め キャンティ配置 二重梁 がもット方杖 鉄骨コンハド ファンナ 歪取り 階高設定 スパン入力	基準設定 柱部材入力 梁部材入力
<u> つ い ス 部材 </u>	▶ 〒面ブレス 軸ブレス スリーブ
水勾配設定 合掌設定 工区設定 天吊.根太 折板受け クルーンボータ 斜通用勾配 🚺 図面レイアクト	梁間寸法 全図作成 部材リスト出力
アンカー作成 (状図作成 軸図作成 📄 梁合番付 デッキアルート 柱詳細 梁詳細 📄 梁リスト	材料リスト 積算 直交通り追加

## 「歪み取り」配置の「新規」の画面



#### 「配置」

歪み取りを配置します。

個別配置・・・左マウスクリックで始点と終点を選択して1本づつ配置します。

自動配置・・・「自動配置」ボタンをクリックします。

画面に表示している通りの全ての柱に歪み取りを配置します。

- ・階毎に配置します。(ダミーフロアーは無視します)
- ・階高が1000未満の階には配置しません。

#### ・歪み取りの基本データについて

- ①階高からの寸法(下側)
  - 階基準線からピースの端までの寸法を入力します。
  - \*インストール時の初期値はSL基準の場合は200、FL基準基準の場合は20。
- ②ダイアからの寸法(上側)
  - 一番下のダイアからの寸法を入力します。ダイアが無い場合は梁下端からの寸法になります。
  - \*インストール時の初期値は50.

③ピース

歪み取りピースの寸法・孔径・材質を入力します。

\*このデータは1つの工事内で共通になります。個別に変更することはできません。

④軸図への出力

軸図、ブレス確認図への出力を選択します。

\* 柱詳細図、柱単品図は設定に関係なくピースを作図します。

⑤表示色

画面、図面で表示する色を選択します。

・新しい工事の基本データは最後に使用した工事の設定を初期値とします。

・ピース位置はピース芯が梁芯になるように計算します。梁が無い場合は柱芯。

「修正」

- ・個別にピース位置、ニゲ寸法を変更します。
- ニゲ寸法は階基準線からの寸法を入力します。
- ・最後に修正したデータは色を変えて表示します。
   修正時だけ有効、次回の歪み取り実行時は全て設定色に戻ります。

「削除」

個別指定・・・1本づつ選択して削除します。(シングルクリック) 領域指定・・・範囲を指定して削除します。(ドラッグ) 全削除・・・画面に表示している通りの全ての歪み取りを削除します。

歪み取りを配置する通りの変更

画面最上部の「通り選択」ボタンまたは、軸図画面左上の「通り選択」をクリックします。

<軸図出力例> ・軸図への出力[1=ワイヤー]で出力した例です。



<柱単品図出力例>



# 1. 胴縁を部材の厚みで色分けして表示。

例えば2.3 mmの胴縁と3.2 mmの胴縁を別の色で表示することができます。

# 編集画面を色分けする手順

「環境設定」-「画面表示1」



「部材の厚みで色を分ける」にチェックします。



・部材の厚み毎に作図色を選択します。 「複写」ボタンで上の行の設定をコピーできます。

2.3 mm以下と 3.2 mm以上で色分けした例



# 割付図出力を色分けする手順

「環境設定」・「図面出力1」



「部材の厚みで色を分ける」にチェックします。

ちの色   画面表示1	画面	表示2	図面読	2 [図面]	王カ1 [	図面出力2	フォント	-   その他1	11
胴縁システムで簡	2置(認	識)した服	同縁等を	割付図	こ出力す	る色と線種	の設定で	す	
*出力しない場合	計ま、線	種「無」を	選択しま	्रम					
☞ 部材の厚み	で色を分	計る							
		1.6	2.3	3.2	4.5	6~			
胴縁 C材		水色	水色	濃水色	濃水色	濃水色	実線	-	
胴縁 DC材	複写	水色	水色	濃水色	濃水色	濃水色	実線	-	
胴縁 その他	複写	水色	水色	濃水色	濃水色	濃水色	実線		
胴縁基準線		青	-		₩ -	]			
		1.6	2.3	3.2	4.5	6~			
マグサ C材		禄	禄	濃緑	濃緑	濃緑	実線	•	
マグサ DC材	複写	禄	禄	濃緑	濃緑	濃緑	実線		
マグサ 子の他	加工	禄	禄	連続	連続	一連結	11220	_	

- ・部材の厚み毎に作図色を選択します。 「複写」ボタンで上の行の設定をコピーできます。
- ・図面出力の胴縁(マグサ)の作図色は15色から選択できます。(従来は7色)

「編集画面の表示例」



## 2. 「データ変換」

#### 基本データの最小長さより短い胴縁を変換できるようにしました。

・メニュー項目の「誤差の設定」を「その他」に変更しました

「データ変換」・「その他」



50mm以上100mm未満の胴縁をクリア0で変換する場合(最小長さは100mm)の例です。 ①胴縁として変換する長さの範囲を入力します。

②「範囲内の胴縁をクリア無しで変換する」にチェックを付けます。

③データ変換を実行します。

\*10mmより短い胴縁は変換しません。

\*クリア寸法を変更する場合は「胴縁編集」の「個別修正」または「一括修正」で行ないます。

・下図の赤丸の中の胴縁の長さは50mm、この胴縁をクリア寸法=0で登録します。





# 3. 「胴縁編集」・「マグサ指定」を追加しました。

- マグサとして登録する胴縁を選択します。
- ・ピースを配置してある場合は以下の処理を行ないます。
   ①取付位置を移動
   ②ダブルで配置してあれば片方のピースを削除
   ③ボルト反転の有無
   「取付位置」にチェック・・・①②
   「ボルト反転」にチェック・・・③

#### 入力例、胴縁を選択



### 入力例、実行後



#### 4. 「胴縁編集」-「組物」

- ・組物に指定した胴縁の端部ピースを削除するようにしました。 「端部ピースを削除する」にチェックを付けて下さい。
- 「クリア寸法を0にする」にチェックが付いている場合は、ピースの有無に関係なくクリアを0にします。
   未設定で胴縁を選択した場合
- 基本データのクリア寸法をセットします。

データ選択前

間柱耐風梁 胴縁編集 開口編集 ピース編集	割付寸法線	デー外出力	プレビュー	パージョン	終了				
	5 0				図面デー対	刀替 計測機能	胴縁編集	開□編集	ピース編集
							新規	ピッチ割付	複写移動
							個別修正	一括修正	マグザ指定
							伸縮	分割連結	削除
							抱き合わせ	LE	]
							<u>点</u>		車団田
							抱き合わ	) <del>U</del>	組物
					1.1.	F)	個別		連鎖
							番号 名称	住	本数
10	10 21			12	പ്പ	0	未設	È 👘	108
	<u> </u>						1 A-1		
A	A					A			
					·*				
0	0		· · · · ·			0			
VI VI	AL 5				ഹ	AL			
	research and an area								
							追加	修正	削除
							- भिग्ना	ト間緑のクロ	アオ注参
							01233		IR ALL
							* 未設 クリアマ	定 じ塞択した 打法を初期化	1場合は します
							☞ 端部の	ピースを削除	する
							胴縁を選択	マする前にチ:	ェックを付
							けて下さい		San Carriel and
							10		

# データ選択後

間柱耐風梁 胴縁編集	開口編集 ピース編集 割付寸法線	データ出力 プレビュー	バージョン 終了			
直前 ← → ↓	↑「作図設定「り」○		図面データ切替 計測機能	胴縁編集	開口編集	ピース編集
				新規	ピッチ割付	複写移動
				個別修正	一括修正	マグサ指定
				抱き合わせ	万割理福	HU PR
				L		前用
					\++	28th
				160 61.	/2	19E 19J
				1個房川		建铜
ō	0		a	番号 名称	包	本数
				1 A-1		
<u> </u>	Q					
				追加	修正	削除
				✓ 選択した OICする ※未設	こ胴縁のクリ っ 定で選択した	ア寸法を
				クリアマ	「法を初期化	します
				● 明治時の	ビースを削除	する
				加減を進かけて下さい	(9 つ前にナコ	-972H

## 5.「データ変換」・「ピース符号」

胴縁ピースと軸組ピースが重なる場合の設定を追加しました。



「干渉するピースは変換しない」 チェック無し・・・軸組ピースを変換します。 チェック有り・・・従来通り軸組ピースを変換しません

# 6.「データ出力」・「加工図作成」

ピース芯が胴縁芯からズレている場合のズレ寸法を断面に表示できるようにしました。 ・芯ズレがある場合だけピース芯の寸法線を作図します。

\*B4縦(4列)は除く

\*A4横(2段)で「ウェブ面が下・フランジ面が上」の場合は寸法線は無し

加工図出力例



・断面、側面への芯ズレの表示の設定方法 「初期設定」・「出力設定」・「加工図2」で設定を変更します。



# 7.「加工図作成」

合番枠の※マークについてのコメントをタイトル枠の右端に表示するようにしました。

加工図出力例

				平成25年 6月 1日	1/10
工事名	通り名	II	int.	北僅	※印は)治療加工有や
サンプル1	A	1	B-100×100×2.3		
合面:A-1 涂			6900		
₩2:1 本					
#*:6300					
\$#1m :					
万向:→ 上					

8.「データ出力」・「集計表」

ボルト数を長さ別に集計して出力するようにしました。

集計表出力例

ピース	個数	ボルト
L1	19	19
L2	152	302
PL1	з	3
J 1	76	142
合計	250	466
フィラー	個数	
F 1		
F4	11	
合計	12	
ボルト	個数	
BOLT-12×30	442	
BOLT-12×130	24	
合計	466	

- 9.「データ出力」・「集計表」
  - CSVファイルの作成(鉄丸2用)を修正しました。
  - ・規格を出力するようにしました。
    出力画面の「規格設定」で項目毎の規格を入力します。
    ・ボルトを出力するようにしました。
- 10.「データ出力」・「割付図」

# 「図面読込」の図面の種類に関係なく表軸裏軸を指定して出力できるようにしました。

・設定した図面の種類と違う場合は左右反転して割付図を作成します。

割付図出力画面



11.「バージョン」・「更新履歴」

[保守契約ダウンロード]ボタンでシグマテックHPのダウンロードページを開きます。